

令和5年12月12日
北九州市市民文化スポーツ局
広報室

報道機関各位

「暴力追放運動について」の調査を行いました
～令和5年度第6回市政モニターアンケート～

1 調査案件

第6回「暴力追放運動について」
(市民文化スポーツ局安全・安心推進課)

2 公表資料

第6回「暴力追放運動について」
(市民文化スポーツ局安全・安心推進課)
⇒ 結果概要及び調査報告書(別添のとおり)

3 参考資料

「市政モニター制度」について(別添のとおり)

【問い合わせ先】

■ 調査案件の内容について

《第6回》「暴力追放運動について」

市民文化スポーツ局安全・安心推進課

093-582-2427 清水・菊竹

■ 市政モニター制度について

広報室広聴課

093-582-2527 中野・相良

【市政モニターに関すること】

【アンケート内容に関すること】

広報室
広聴課
担当：中野、相良
TEL：582-2527

市民文化スポーツ局
安全・安心推進課
担当：清水、菊竹
TEL：582-2427

令和5年12月12日

令和5年度 第6回市政モニターアンケート結果概要 「暴力追放運動について」

本市では、社会全体で暴力団を排除する機運を醸成するため、暴力団等からの被害に関する相談窓口の運営や、集中的な啓発活動により市民等の暴排意識の高揚を図っている。

暴力追放運動に関する市民のご意見やご要望を伺い、市民の意識等を確認するとともに、その結果を今後の暴力追放施策の推進の参考とするためにアンケート調査を実施した。

1 調査概要

調査対象者 市政モニター150人（うち、回答者数143人（回収率95.3%））
調査実施日 令和5年9月15日～令和5年9月29日
実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査

2 調査結果概要

市の相談窓口の認知度は53.9%だった。

暴力追放活動を何によって知ったかについては「市政だより」「テレビ・ラジオ」「ポスター」が、上位を占めている。

- 市の相談窓口の認知度は53.9%で、前回調査の47.7%から向上した。
- 市の暴力追放に向けた取り組みについては、「テレビや市政だよりによる広報啓発」（71.4%）、「ポスターやリーフレットによる啓発」（67.5%）が、6割以上で上位を占めた。

暴力団等から不当な要求があった場合は、78.3%の人が「他に相談する」と回答し、その相談窓口としては、「警察」をはじめとする公的機関を選んだ人が多い。

- 暴力団等から不当な要求があった場合の対応について、1位「他に相談する」（78.3%）、2位「要求を拒否する」（16.1%）となったが、「こちらに非があれば応じる」（2.1%）「要求が過少であれば応じる」（2.1%）「要求に応じる」（0.7%）との回答が少数あった。
- 暴力団等から要求があった場合、「他に相談する」と答えた人に誰（どこ）に相談するか尋ねたところ、「警察」（93.8%）が最も多く、次いで「市の相談窓口」（50.0%）だった。

暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいることについて、83.9%の人が「絶対によくないと思う」と回答し、「やむを得ない場合があると思う」が9.8%、「悪くないと思う」は0.7%だった。

- 暴力団が社会に悪影響を与える存在であり、「暴力団を利用しない」との暴力追放に対する意識は高いことがうかがえる。

北九州市に対してどんな都市イメージをもっているかについて、「工業都市・労働者の街」(65.0%)、「まあまあ住みよい街」(60.8%)が半数以上だった。また、「暴力の街」(21.0%)とのイメージは前回調査時より微増していた。

- 「暴力の街」との回答は、21.0%と前回の17.4%から微増していた。
- 北九州市が警察その他関係機関・団体と連携し取り組んでいる暴力追放運動については、「よくなっている」との意見が73.5%で7割を超えており、一定の評価を受けていることがうかがえる。

詳細はHPで→https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kouhou/150_00042.html

令和5年度
第6回市政モニターアンケート

「暴力追放運動について」

北九州市広報室広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1)市の相談窓口の認知度	2
(2)市の暴力追放に向けた取組の認知度	3
(3)活動内容の認知度	4
(4)暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5)不当な要求を受けた場合の対応	6
(6)不当な要求に応じる理由	7
(7)不当な要求を受けた場合誰(どこ)に相談するか	8
(8)暴力追放の住民運動への協力意向	9
(9)暴力追放の住民運動に協力したくない理由	10
(10)暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	11
(11)暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	12
(12)暴力団はどのようにして存在すると思うか	13
(13)北九州のイメージについて	14
(14)北九州市の暴力追放運動の取組について	15
(15)暴力追放についての意見	16
IV全体考察	21

I 調査の概要

調査対象者 市政モニター150人
 回答者数 143人(回収率 95.3%)
 調査実施日 令和5年9月15日～令和5年9月29日
 実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査
 調査実施課 広報室広聴課 TEL582-2527
 調査依頼課 市民文化スポーツ局安全・安心推進課 TEL582-2427

II 市政モニターの構成

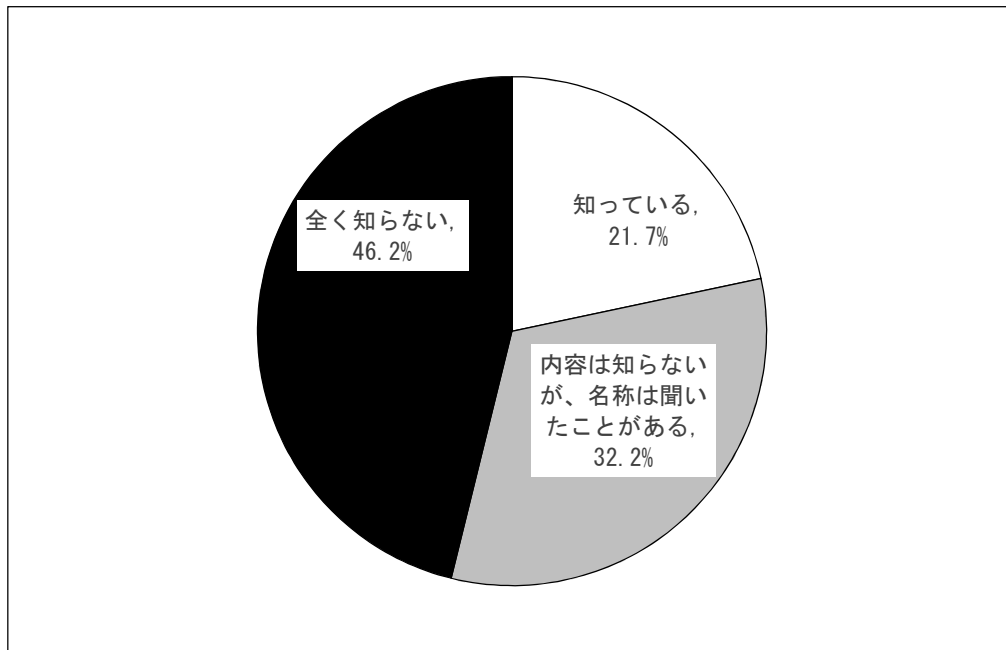
R5.9.15

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	68 (45.3%)	82 (54.7%)	区 別			
10歳代	2 (1.3%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	門司区	16 (10.7%)	8 (5.3%)	8 (5.3%)
20歳代	18 (12.0%)	7 (4.7%)	11 (7.3%)	小倉北区	35 (23.3%)	15 (10.0%)	20 (13.3%)
30歳代	20 (13.3%)	10 (6.7%)	10 (6.7%)	小倉南区	26 (17.3%)	10 (6.7%)	16 (10.7%)
40歳代	24 (16.0%)	11 (7.3%)	13 (8.7%)	若松区	8 (5.3%)	1 (0.7%)	7 (4.7%)
50歳代	24 (16.0%)	11 (7.3%)	13 (8.7%)	八幡東区	11 (7.3%)	6 (4.0%)	5 (3.3%)
60歳代	22 (14.7%)	11 (7.3%)	11 (7.3%)	八幡西区	44 (29.3%)	23 (15.3%)	21 (14.0%)
70歳以上	40 (26.7%)	17 (11.3%)	23 (15.3%)	戸畑区	10 (6.7%)	5 (3.3%)	5 (3.3%)

※モニター総数150名のうち郵送モニター27名、ネットモニター123名
 ※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

問1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

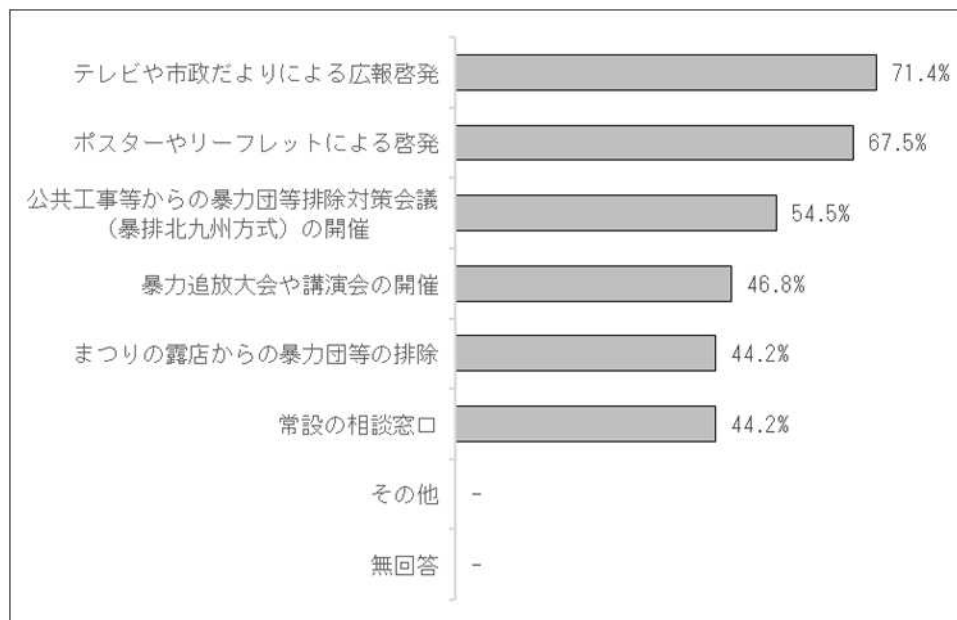


		回答者数	知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	全く知らない	無回答
全体		143	21.7%	32.2%	46.2%	-
性別	男性	65	30.8%	26.2%	43.1%	-
	女性	78	14.1%	37.2%	48.7%	-
年齢別	10歳代	2	-	-	100.0%	-
	20歳代	17	23.5%	11.8%	64.7%	-
	30歳代	19	15.8%	15.8%	68.4%	-
	40歳代	23	17.4%	39.1%	43.5%	-
	50歳代	24	29.2%	29.2%	41.7%	-
	60歳代	20	15.0%	60.0%	25.0%	-
	70歳以上	38	26.3%	34.2%	39.5%	-
区別	門司区	15	40.0%	20.0%	40.0%	-
	小倉北区	33	18.2%	33.3%	48.5%	-
	小倉南区	25	32.0%	28.0%	40.0%	-
	若松区	8	12.5%	37.5%	50.0%	-
	八幡東区	11	18.2%	27.3%	54.5%	-
	八幡西区	41	12.2%	39.0%	48.8%	-
	戸畑区	10	30.0%	30.0%	40.0%	-

「知っている」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計は53.9%だった。「全く知らない」が46.2%で、年代別では10歳代から30歳代が60%以上と認知度が低かった。

問2 <問1で「1 知っている」又は「2 内容は知らないが、名称は聞いたことがある」と答えた方におたずねします。>

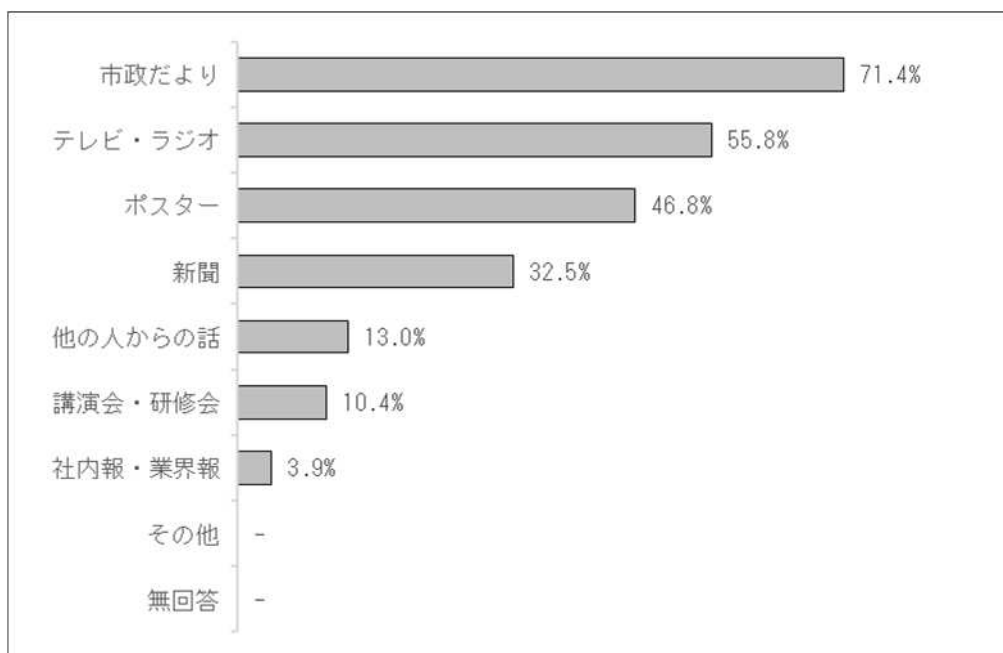
2-1 市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



	回答者数	テレビや市政だよりによる広報啓発	ポスターやリーフレットによる啓発	公共工事等からの暴力団等排除対策会議（暴排北九州方式）の開催	暴力追放大会や講演会の開催	まつりの露店からの暴力団等の排除	常設の相談窓口	その他	無回答	
全体	77人	71.4%	67.5%	54.5%	46.8%	44.2%	44.2%	-	-	
性別	男性	37人	64.9%	59.5%	45.9%	51.4%	51.4%	48.6%	-	-
	女性	40人	77.5%	75.0%	62.5%	42.5%	37.5%	40.0%	-	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	6人	66.7%	50.0%	50.0%	50.0%	66.7%	16.7%	-	-
	30歳代	6人	100.0%	50.0%	83.3%	33.3%	50.0%	33.3%	-	-
	40歳代	13人	76.9%	76.9%	46.2%	30.8%	23.1%	30.8%	-	-
	50歳代	14人	78.6%	78.6%	57.1%	64.3%	50.0%	64.3%	-	-
	60歳代	15人	60.0%	53.3%	53.3%	26.7%	26.7%	33.3%	-	-
	70歳以上	23人	65.2%	73.9%	52.2%	60.9%	56.5%	56.5%	-	-
区別	門司区	9人	66.7%	55.6%	44.4%	22.2%	66.7%	44.4%	-	-
	小倉北区	17人	64.7%	64.7%	70.6%	52.9%	58.8%	41.2%	-	-
	小倉南区	15人	80.0%	80.0%	53.3%	60.0%	33.3%	53.3%	-	-
	若松区	4人	75.0%	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-
	八幡東区	5人	100.0%	80.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	-	-
	八幡西区	21人	71.4%	61.9%	47.6%	47.6%	33.3%	47.6%	-	-
	戸畑区	6人	50.0%	50.0%	83.3%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-

1位は、前回同様「テレビや市政だよりによる広報啓発」が71.4%、続いて「ポスターやリーフレットによる啓発」が67.5%となった。

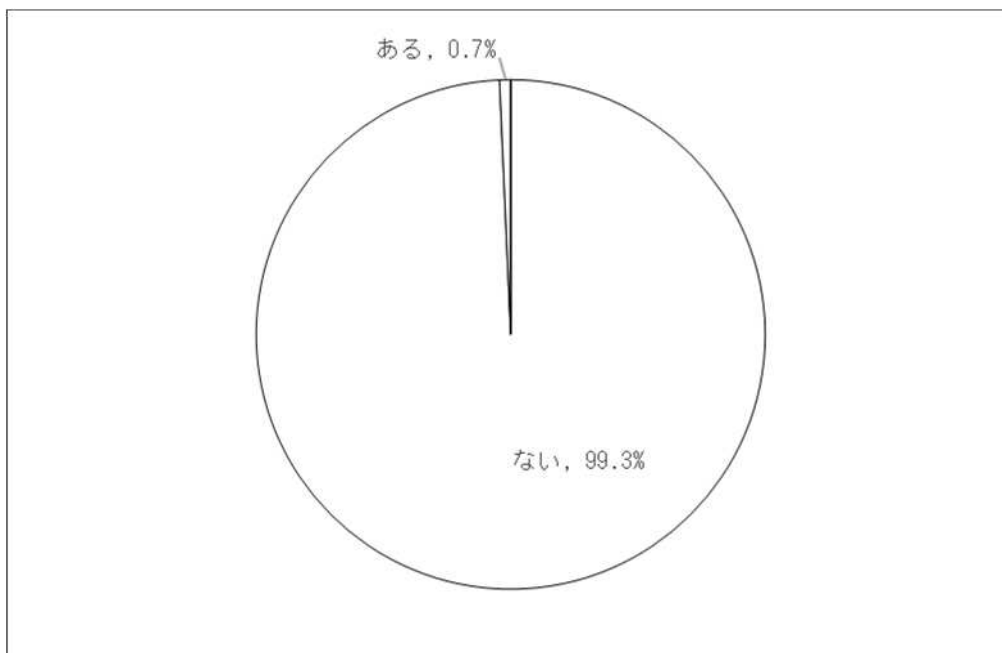
2-2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	ポスター	新聞	他の人からの話	講演会・研修会	社内報・業界報	その他	無回答
全体	77人	71.4%	55.8%	46.8%	32.5%	13.0%	10.4%	3.9%	-	-
性別	男性	37人	67.6%	54.1%	40.5%	32.4%	10.8%	16.2%	5.4%	-
	女性	40人	75.0%	57.5%	52.5%	32.5%	15.0%	5.0%	2.5%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	6人	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	-	-	-
	30歳代	6人	33.3%	50.0%	50.0%	-	16.7%	16.7%	-	-
	40歳代	13人	76.9%	30.8%	61.5%	-	7.7%	7.7%	7.7%	-
	50歳代	14人	57.1%	64.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	7.1%	-
	60歳代	15人	80.0%	86.7%	26.7%	46.7%	-	-	-	-
	70歳以上	23人	87.0%	47.8%	65.2%	47.8%	21.7%	17.4%	4.3%	-
区別	門司区	9人	77.8%	55.6%	55.6%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	-
	小倉北区	17人	58.8%	52.9%	35.3%	29.4%	17.6%	17.6%	5.9%	-
	小倉南区	15人	73.3%	53.3%	40.0%	26.7%	13.3%	6.7%	6.7%	-
	若松区	4人	75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-
	八幡東区	5人	80.0%	80.0%	60.0%	20.0%	20.0%	-	-	-
	八幡西区	21人	76.2%	52.4%	57.1%	38.1%	9.5%	9.5%	-	-
	戸畑区	6人	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	-	16.7%	-	-

「市政だより」と回答した人が1位で71.4%、続いて2位が「テレビ・ラジオ」の55.8%、「ポスター」が3位で46.8%、前回3位の新聞が4位に後退した。

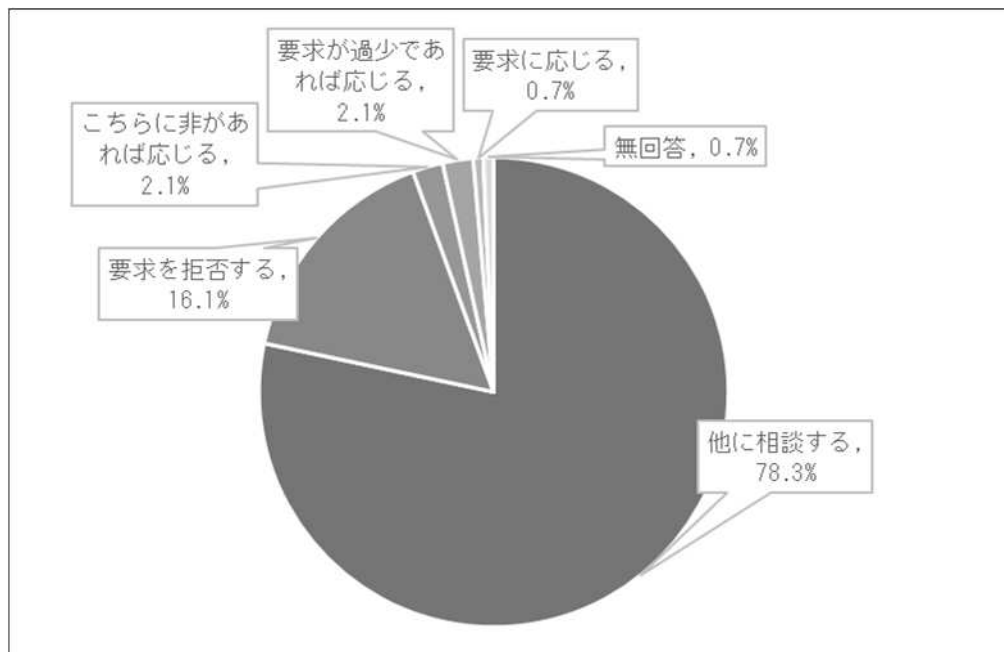
問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、過去2年間に北九州市内において暴力団から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。



		回答者数	ない	ある	無回答
全体		143人	99.3%	0.7%	-
性別	男性	65人	98.5%	1.5%	-
	女性	78人	100.0%	-	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	-	-
	20歳代	17人	100.0%	-	-
	30歳代	19人	100.0%	-	-
	40歳代	23人	100.0%	-	-
	50歳代	24人	100.0%	-	-
	60歳代	20人	100.0%	-	-
	70歳以上	38人	97.4%	-	-
区別	門司区	15人	93.3%	6.7%	-
	小倉北区	33人	100.0%	-	-
	小倉南区	25人	100.0%	-	-
	若松区	8人	100.0%	-	-
	八幡東区	11人	100.0%	-	-
	八幡西区	41人	100.0%	-	-
	戸畑区	10人	100.0%	-	-

「ある」と回答した者は1人0.7%であった。

問4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。
1つだけ選んでください。

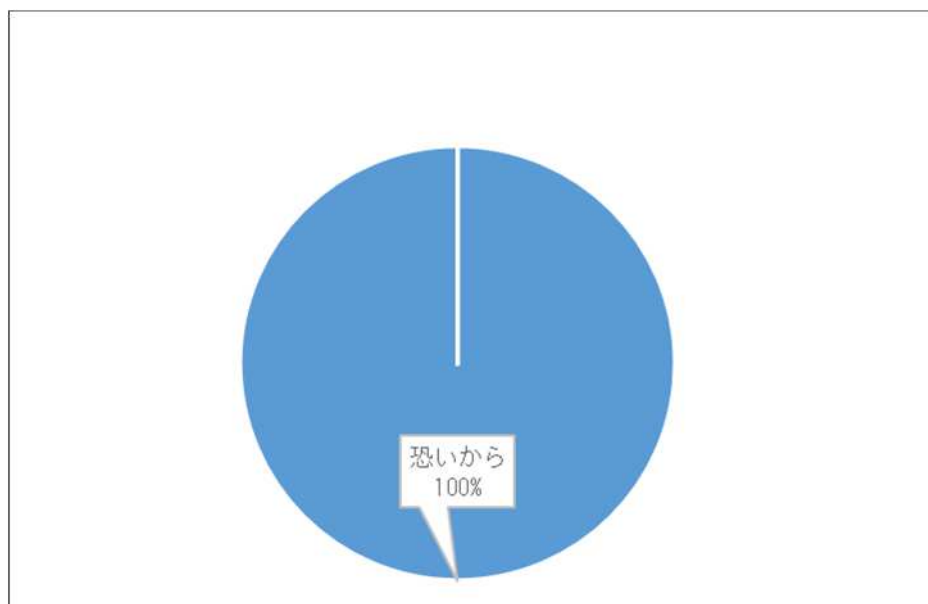


	回答者数	他に相談する	要求を拒否する	こちらに非があれば応じる	要求が過少であれば応じる	要求に応じる	その他	無回答	
全体	143人	78.3%	16.1%	2.1%	2.1%	0.7%	-	0.7%	
性別	男性	65人	66.2%	26.2%	1.5%	3.1%	1.5%	-	1.5%
	女性	78人	88.5%	7.7%	2.6%	1.3%	-	-	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	-	-	-	-	-	-
	20歳代	17人	70.6%	5.9%	11.8%	11.8%	-	-	-
	30歳代	19人	73.7%	15.8%	-	-	5.3%	-	5.3%
	40歳代	23人	82.6%	13.0%	-	4.3%	-	-	-
	50歳代	24人	79.2%	16.7%	4.2%	-	-	-	-
	60歳代	20人	65.0%	35.0%	-	-	-	-	-
	70歳以上	38人	86.8%	13.2%	-	-	-	-	-
区別	門司区	15人	80.0%	20.0%	-	-	-	-	-
	小倉北区	33人	84.8%	6.1%	3.0%	6.1%	-	-	-
	小倉南区	25人	80.0%	8.0%	4.0%	4.0%	-	-	4.0%
	若松区	8人	100.0%	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	11人	72.7%	27.3%	-	-	-	-	-
	八幡西区	41人	73.2%	22.0%	2.4%	-	2.4%	-	-
戸畑区	10人	60.0%	40.0%	-	-	-	-	-	

1位の「他に相談する」が78.3%で、2位の「要求を拒否する」が16.1%だった。「こちらに非があれば応じる」、「要求が過少であれば応じる」がともに2.1%、「要求に応じる」が0.7%だった。

<問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします>

問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

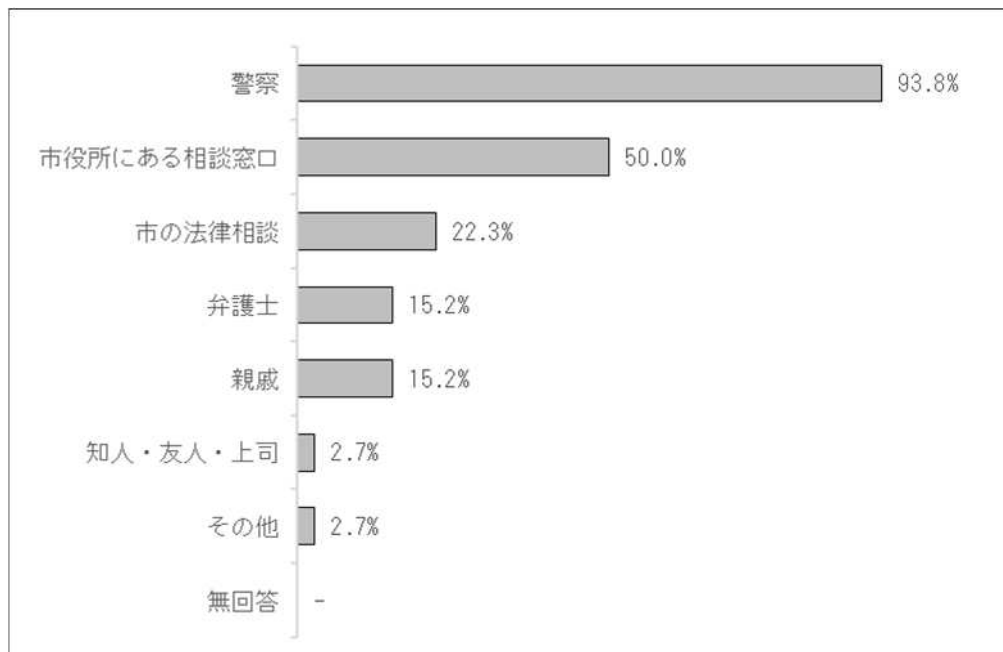


	回答者数	恐いから	関わりをもつのが面倒だから	相談するところがないから	前にも応じて、断るのが困難	対応に不慣れだから	その他
全体	1人	100.0%	-	-	-	-	-
性別	男性	1人	100.0%	-	-	-	-
	女性	-	-	-	-	-	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-
	30歳代	1人	100.0%	-	-	-	-
	40歳代	-	-	-	-	-	-
	50歳代	-	-	-	-	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	-	-	-	-	-	-
区別	門司区	-	-	-	-	-	-
	小倉北区	-	-	-	-	-	-
	小倉南区	-	-	-	-	-	-
	若松区	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	-	-	-	-	-	-
	八幡西区	1人	100.0%	-	-	-	-
	戸畑区	-	-	-	-	-	-

「要求に応じる」と回答した理由は、「恐いから」だった。

〈問6は、問4で「5他に相談する」と答えた方におたずねします〉

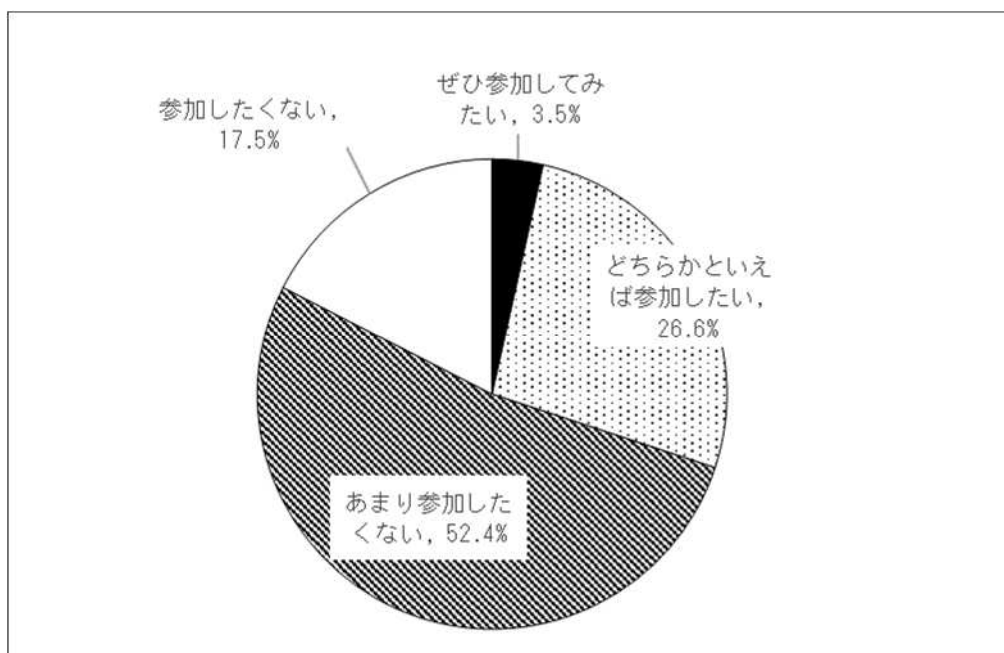
問6 そのことを誰（どこ）に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	警察	市役所にある相談窓口	市の法律相談	弁護士	親戚	知人・友人・上司	その他	無回答
全体	112人	93.8%	50.0%	22.3%	15.2%	15.2%	2.7%	2.7%	-
性別	男性	43人	100.0%	41.9%	14.0%	20.9%	7.0%	2.3%	-
	女性	69人	89.9%	55.1%	27.5%	11.6%	20.3%	2.9%	4.3%
年齢別	10歳代	2人	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-
	20歳代	12人	100.0%	25.0%	8.3%	-	25.0%	-	8.3%
	30歳代	14人	100.0%	21.4%	14.3%	7.1%	35.7%	-	-
	40歳代	19人	94.7%	47.4%	26.3%	21.1%	10.5%	-	-
	50歳代	19人	94.7%	47.4%	10.5%	15.8%	5.3%	-	-
	60歳代	13人	84.6%	69.2%	38.5%	23.1%	7.7%	7.7%	-
	70歳以上	33人	90.9%	63.6%	30.3%	18.2%	12.1%	6.1%	-
区別	門司区	12人	100.0%	50.0%	16.7%	16.7%	-	-	8.3%
	小倉北区	28人	92.9%	39.3%	17.9%	17.9%	7.1%	-	-
	小倉南区	20人	95.0%	45.0%	15.0%	10.0%	5.0%	-	-
	若松区	8人	100.0%	62.5%	25.0%	12.5%	-	-	-
	八幡東区	8人	87.5%	75.0%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%
	八幡西区	30人	93.3%	56.7%	30.0%	20.0%	36.7%	3.3%	3.3%
	戸畑区	6人	83.3%	33.3%	33.3%	-	-	16.7%	-

前回調査と同様、「警察」と答えた人が93.8%で1位、「市役所にある相談窓口」が50.0%の2位であった。

問7 現在、県警察や市などの主催により、市内各地で暴力追放大会や暴追パレードが開催されていますが、あなたは参加する時間があるとした場合に、このような活動に参加することについてどのようにお考えですか。

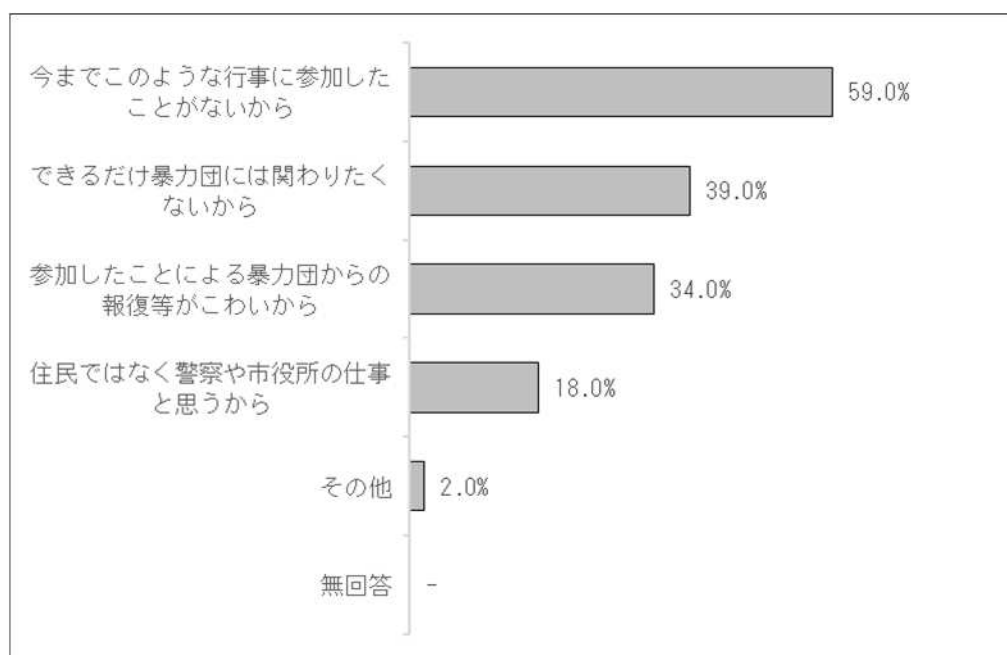


		回答者数	ぜひ参加してみたい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答
全体		143人	3.5%	26.6%	52.4%	17.5%	-
性別	男性	65人	6.2%	35.4%	40.0%	18.5%	-
	女性	78人	1.3%	19.2%	62.8%	16.7%	-
年齢別	10歳代	2人	-	-	100.0%	-	-
	20歳代	17人	-	23.5%	58.8%	17.6%	-
	30歳代	19人	-	26.3%	36.8%	36.8%	-
	40歳代	23人	4.3%	21.7%	60.9%	13.0%	-
	50歳代	24人	8.3%	29.2%	50.0%	12.5%	-
	60歳代	20人	-	30.0%	55.0%	15.0%	-
	70歳以上	38人	5.3%	28.9%	50.0%	15.8%	-
区別	門司区	15人	13.3%	26.7%	46.7%	13.3%	-
	小倉北区	33人	3.0%	33.3%	54.5%	9.1%	-
	小倉南区	25人	-	32.0%	52.0%	16.0%	-
	若松区	8人	-	12.5%	62.5%	25.0%	-
	八幡東区	11人	-	18.2%	45.5%	36.4%	-
	八幡西区	41人	4.9%	22.0%	56.1%	17.1%	-
	戸畑区	10人	-	30.0%	40.0%	30.0%	-

「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が 30.1%と半数以下だった。また、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は 69.9%だった。

<問8は、問7で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方におたずねします>

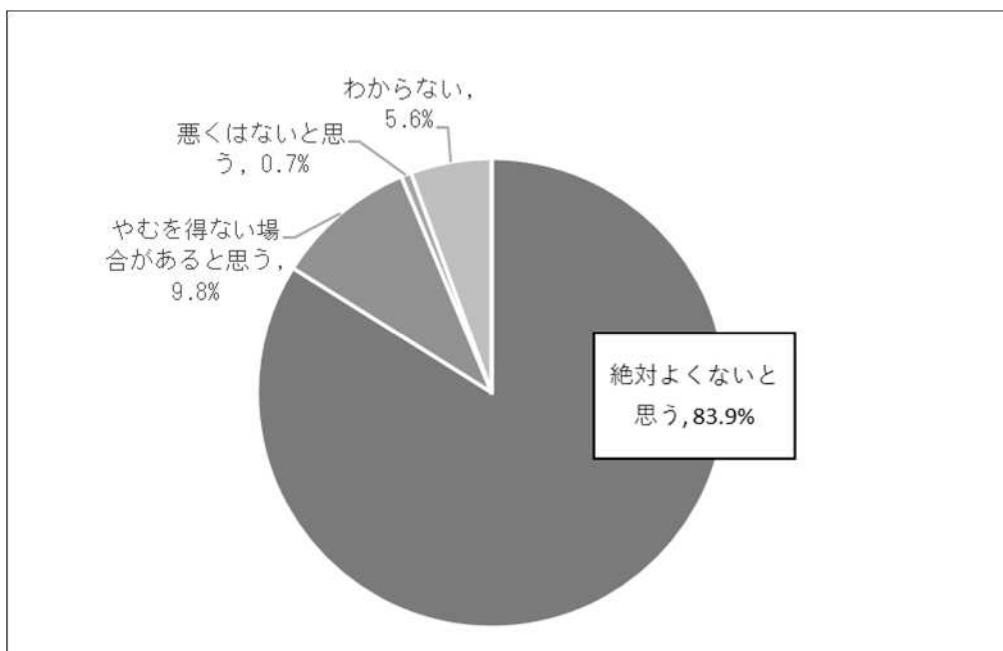
問8 その理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	今までこのような行事に参加したことがないから	できるだけ暴力団には関わりたくないから	参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから	住民ではなく警察や市役所の仕事と思うから	その他	無回答
全体		100人	59.0%	39.0%	34.0%	18.0%	2.0%	-
性別	男性	38人	55.3%	31.6%	26.3%	26.3%	5.3%	-
	女性	62人	61.3%	43.5%	38.7%	12.9%	-	-
年齢別	10歳代	2人	50.0%	50.0%	100.0%	-	-	-
	20歳代	13人	46.2%	38.5%	46.2%	38.5%	-	-
	30歳代	14人	50.0%	35.7%	42.9%	21.4%	-	-
	40歳代	17人	52.9%	41.2%	35.3%	11.8%	-	-
	50歳代	15人	53.3%	26.7%	26.7%	-	6.7%	-
	60歳代	14人	78.6%	35.7%	21.4%	21.4%	-	-
	70歳以上	25人	68.0%	48.0%	28.0%	20.0%	4.0%	-
区別	門司区	9人	77.8%	66.7%	55.6%	33.3%	-	-
	小倉北区	21人	57.1%	38.1%	33.3%	9.5%	4.8%	-
	小倉南区	17人	52.9%	29.4%	29.4%	11.8%	-	-
	若松区	7人	85.7%	42.9%	14.3%	-	-	-
	八幡東区	9人	77.8%	44.4%	55.6%	22.2%	-	-
	八幡西区	30人	43.3%	36.7%	33.3%	23.3%	3.3%	-
	戸畑区	7人	71.4%	28.6%	14.3%	28.6%	-	-

「今までこのような行事に参加したことがないから」が59.0%と一番多く、次いで「できるだけ暴力団には関わりたくないから」が39.0%で、「参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから」が34.0%だった。

問9 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。

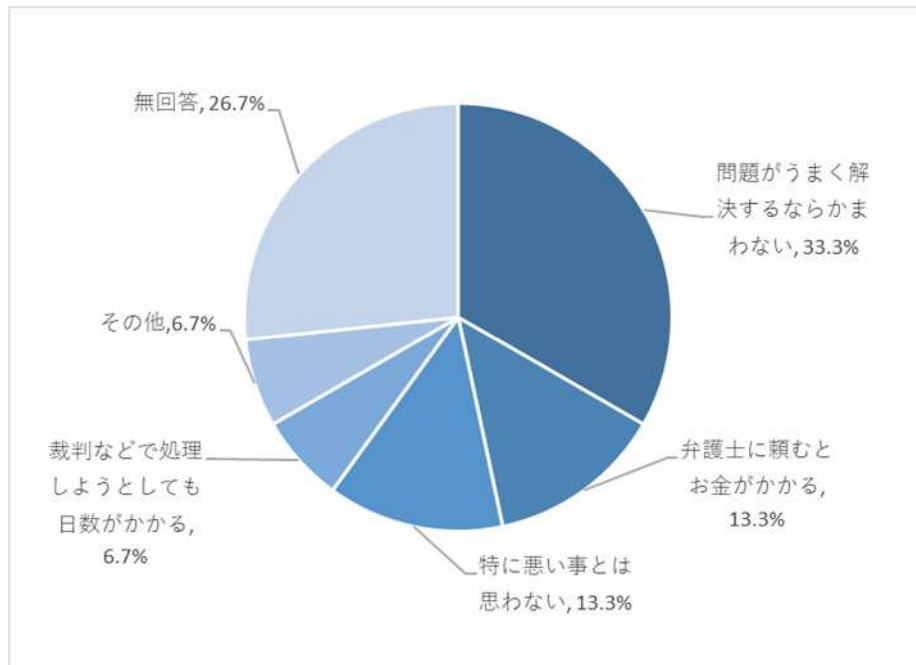


		回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない	無回答
全体		143人	83.9%	9.8%	0.7%	5.6%	-
性別	男性	65人	81.5%	13.8%	1.5%	3.1%	-
	女性	78人	85.9%	6.4%	-	7.7%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	-	-	-	-
	20歳代	17人	82.4%	-	5.9%	11.8%	-
	30歳代	19人	73.7%	21.1%	-	5.3%	-
	40歳代	23人	82.6%	13.0%	-	4.3%	-
	50歳代	24人	83.3%	8.3%	-	8.3%	-
	60歳代	20人	85.0%	10.0%	-	5.0%	-
区別	70歳以上	38人	89.5%	7.9%	-	2.6%	-
	門司区	15人	93.3%	6.7%	-	-	-
	小倉北区	33人	84.8%	3.0%	3.0%	9.1%	-
	小倉南区	25人	76.0%	24.0%	-	-	-
	若松区	8人	75.0%	-	-	25.0%	-
	八幡東区	11人	90.9%	9.1%	-	-	-
	八幡西区	41人	82.9%	9.8%	-	7.3%	-
戸畑区	10人	90.0%	10.0%	-	-	-	

「絶対によくないと思う」が83.9%で大半を占めている。次いで「やむを得ない場合があると思う」が9.8%「悪くはないと思う」は0.7%だった。

〈問10は、問9で「2 やむを得ない場合があると思う」又は「3 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします〉

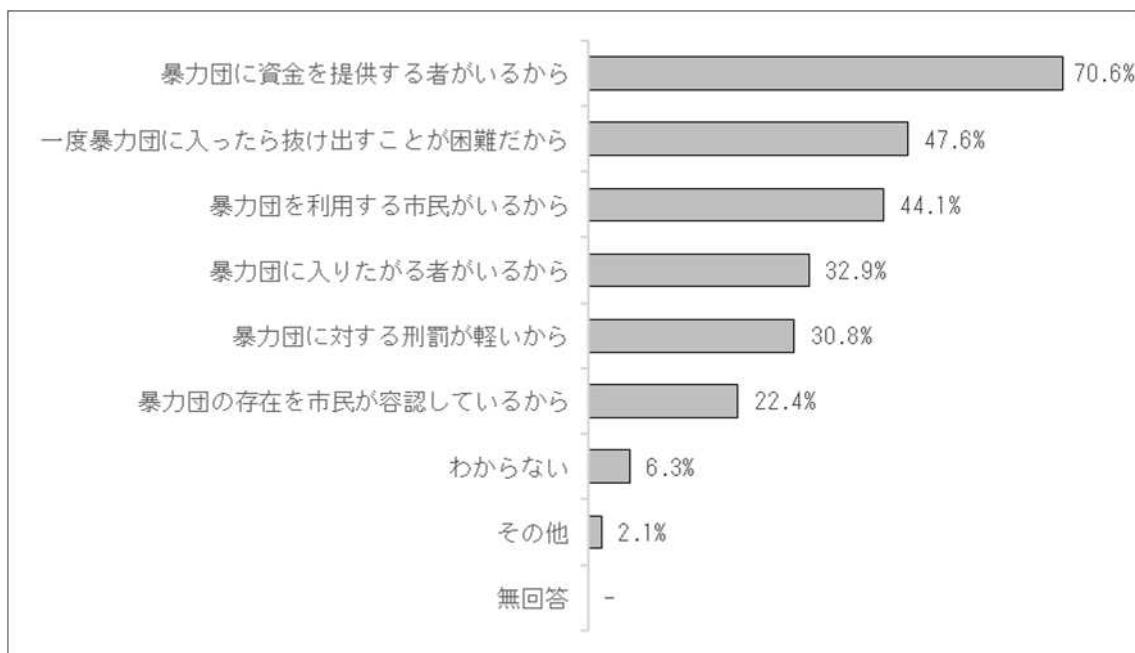
問10 そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



	回答者数	問題がうまく解決するならかまわない	弁護士に頼むとお金がかかる	特に悪い事とは思わない	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	その他	無回答
全体	15人	33.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	26.7%
性別	男性	10人	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%
	女性	5人	60.0%	-	20.0%	-	20.0%
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1人	100.0%	-	-	-	-
	30歳代	4人	50.0%	-	-	25.0%	25.0%
	40歳代	3人	-	33.3%	-	-	66.7%
	50歳代	2人	-	-	-	50.0%	50.0%
	60歳代	2人	50.0%	-	50.0%	-	-
	70歳以上	3人	33.3%	33.3%	33.3%	-	-
区別	門司区	1人	100.0%	-	-	-	-
	小倉北区	2人	50.0%	-	-	-	50.0%
	小倉南区	6人	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%
	若松区	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	1人	-	-	100.0%	-	-
	八幡西区	4人	25.0%	25.0%	-	25.0%	25.0%
	戸畑区	1人	100.0%	-	-	-	-

回答した15人の中で、「問題がうまく解決するならかまわない」が33.3%と一番多かった。

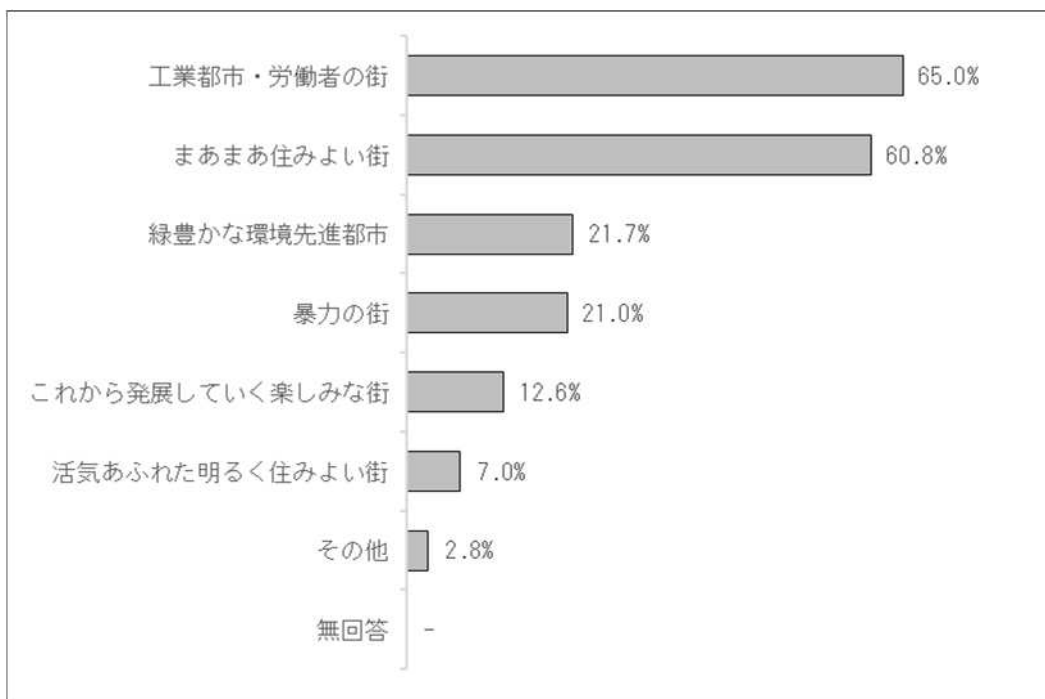
問 1 1 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中からいくつかでも選んでください。



	回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団を利用する市民がいるから	暴力団に入りたがる者がいるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	暴力団の存在を市民が容認しているから	わからない	その他	無回答	
全体	143人	70.6%	47.6%	44.1%	32.9%	30.8%	22.4%	6.3%	2.1%	-	
性別	男性	65人	70.8%	35.4%	44.6%	36.9%	30.8%	29.2%	6.2%	1.5%	-
	女性	78人	70.5%	57.7%	43.6%	29.5%	30.8%	16.7%	6.4%	2.6%	-
年齢別	10歳代	2人	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	17人	76.5%	41.2%	23.5%	47.1%	35.3%	11.8%	-	-	-
	30歳代	19人	57.9%	78.9%	15.8%	36.8%	15.8%	5.3%	-	-	-
	40歳代	23人	78.3%	39.1%	39.1%	26.1%	34.8%	13.0%	17.4%	-	-
	50歳代	24人	58.3%	41.7%	37.5%	33.3%	33.3%	29.2%	8.3%	4.2%	-
	60歳代	20人	80.0%	35.0%	55.0%	50.0%	50.0%	30.0%	-	-	-
70歳以上	38人	71.1%	47.4%	63.2%	21.1%	23.7%	34.2%	7.9%	5.3%	-	
区別	門司区	15人	80.0%	46.7%	60.0%	33.3%	33.3%	40.0%	6.7%	-	-
	小倉北区	33人	57.6%	51.5%	45.5%	39.4%	33.3%	27.3%	3.0%	-	-
	小倉南区	25人	68.0%	28.0%	48.0%	32.0%	32.0%	20.0%	8.0%	-	-
	若松区	8人	75.0%	75.0%	25.0%	37.5%	50.0%	-	12.5%	12.5%	-
	八幡東区	11人	72.7%	72.7%	45.5%	54.5%	36.4%	45.5%	-	-	-
	八幡西区	41人	75.6%	43.9%	39.0%	22.0%	24.4%	12.2%	9.8%	4.9%	-
戸畑区	10人	80.0%	50.0%	40.0%	30.0%	20.0%	20.0%	-	-	-	

「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の70.6%で、次いで「一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから」「暴力団を利用する市民がいるから」が40%以上と多かった。

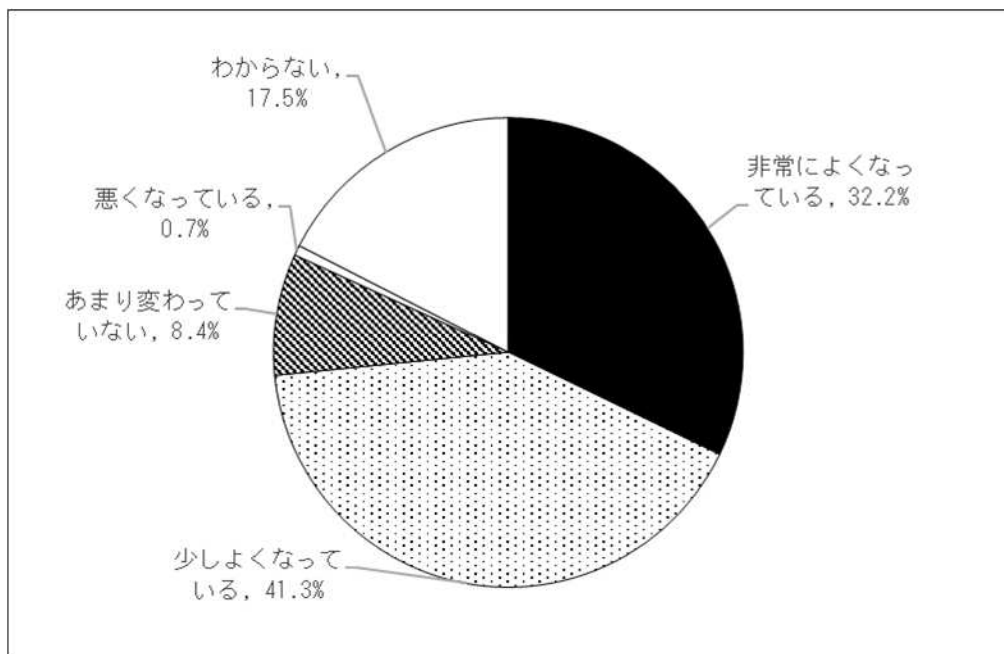
問12 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	工業都市・労働者の街	まあまあ住みよい街	緑豊かな環境先進都市	暴力の街	これから発展していく楽しみな街	活気あふれた明るく住みよい街	その他	無回答	
全体	143人	65.0%	60.8%	21.7%	21.0%	12.6%	7.0%	2.8%	-	
性別	男性	65人	70.8%	52.3%	20.0%	20.0%	15.4%	10.8%	4.6%	-
	女性	78人	60.3%	67.9%	23.1%	21.8%	10.3%	3.8%	1.3%	-
年齢別	10歳代	2人	-	50.0%	100.0%	-	50.0%	-	-	
	20歳代	17人	76.5%	35.3%	5.9%	47.1%	5.9%	5.9%	-	
	30歳代	19人	68.4%	47.4%	10.5%	26.3%	5.3%	5.3%	-	
	40歳代	23人	69.6%	52.2%	21.7%	13.0%	21.7%	21.7%	-	
	50歳代	24人	58.3%	66.7%	33.3%	16.7%	12.5%	4.2%	-	
	60歳代	20人	75.0%	65.0%	10.0%	15.0%	15.0%	-	5.0%	
70歳以上	38人	57.9%	78.9%	28.9%	21.1%	10.5%	5.3%	7.9%		
区別	門司区	15人	80.0%	60.0%	20.0%	40.0%	13.3%	6.7%	-	
	小倉北区	33人	60.6%	63.6%	21.2%	24.2%	9.1%	3.0%	3.0%	
	小倉南区	25人	60.0%	60.0%	32.0%	16.0%	24.0%	12.0%	-	
	若松区	8人	25.0%	62.5%	25.0%	-	-	-	12.5%	
	八幡東区	11人	81.8%	63.6%	36.4%	9.1%	36.4%	-	18.2%	
	八幡西区	41人	65.9%	61.0%	14.6%	22.0%	7.3%	7.3%	-	
	戸畑区	10人	80.0%	50.0%	10.0%	20.0%	-	20.0%	-	

「工業都市・労働者の街」が65.0%で1位、次いで「まあまあ住みよい街」が60.8%、「暴力の街」は21.0%で前回と同様4位となった。

問 1 3 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいます。以前と比べて変わったと思いますか。



		回答者数	非常によくなっている	少しよくなっている	あまり変わっていない	悪くなっている	わからない	無回答
全体		143人	32.2%	41.3%	8.4%	0.7%	17.5%	-
性別	男性	65人	44.6%	35.4%	7.7%	1.5%	10.8%	-
	女性	78人	21.8%	46.2%	9.0%	-	23.1%	-
年齢別	10歳代	2人	-	100.0%	-	-	-	-
	20歳代	17人	17.6%	41.2%	-	5.9%	35.3%	-
	30歳代	19人	31.6%	31.6%	10.5%	-	26.3%	-
	40歳代	23人	21.7%	52.2%	13.0%	-	13.0%	-
	50歳代	24人	37.5%	37.5%	12.5%	-	12.5%	-
	60歳代	20人	55.0%	20.0%	10.0%	-	15.0%	-
	70歳以上	38人	31.6%	50.0%	5.3%	-	13.2%	-
区別	門司区	15人	40.0%	33.3%	6.7%	-	20.0%	-
	小倉北区	33人	45.5%	30.3%	3.0%	3.0%	18.2%	-
	小倉南区	25人	32.0%	48.0%	8.0%	-	12.0%	-
	若松区	8人	12.5%	50.0%	12.5%	-	25.0%	-
	八幡東区	11人	27.3%	54.5%	9.1%	-	9.1%	-
	八幡西区	41人	26.8%	41.5%	9.8%	-	22.0%	-
	戸畑区	10人	20.0%	50.0%	20.0%	-	10.0%	-

「非常によくなっている」「少しよくなっている」の合計が73.5%で、全体の7割以上を占めている。

問14 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

49件のご意見をいただきました。

- 工藤会の撲滅と言いながら、小倉に組長の自宅が堂々とあり、警察が常時監視している異常さが残っている。
- 現役時代暴追暴対問題で警察関係者、弁護士との交流を持たせてもらったが、情報提供、対応策等非常に頼もしく感じた。警察等と比べて行政の対応が今一顔が見えてこない気がします。
暴力団離脱者の就職斡旋に取り組んでいるとは思いますが、市が離脱者を雇用した例はあるのですか？あるならPRすべきですし、無いなら一考を。
- 1日でも早く、暴力追放が市民にとって安全安心な街になってほしい！絶滅すべきである。
- 長年本当によくやったと思う。
- 11年前終の棲家として統治を選び東京から転入した。その時、東京での送別会で北九州の事を“住む所ではない”と悪口をいわれたものです。小・中・高校の教材の中に、暴力排除・追放の向けた取り組みを工夫して取り組む。市民センターなど市民・地域活動を行う団体や企業・商工団体を通じて暴力排除の啓蒙活動を積極的に進める。難しい課題ではあるが、暴力団を抜けた人に対して、仕事や経済支援をもっと柔軟に幅広くできるように条例を制定し、行政の取り組みを強める。
- 昔のように一見して暴力団という人はいなくなったと思うが、陰に隠れて物事を巧妙に処理するための組織は存在するのではないか。例えば、旦過市場の2度の火災など不自然すぎると思われる。
- 日頃あまり考えていません。ニュース等で報じられた時に耳に入る程度です。
- 本腰を入れてやっている姿は伝わっています。この問題を抱えている他のまち、地域の人達、関心事としてとらえているはずです。見えています。徹底的にやっいていいイメージの北九州の街になるように願っています。
- 追放について特にどうしたらいいのかはわかりません。私は2地域生活しています。他県に住んでいる人のイメージは北九州＝暴力団みたいな感じを持っていると思うことはよくある。市長が替わってこれからの街になってほしい。市民は役所から街をきれいにする声掛けをしてそんなところから私たち自身の意識を変えていければ暴力という事はいづれ少なくなり安心して暮らしていける街になるはずです。

- まずは家庭。家庭の中から暴力をなくす。夫婦親子関係。明るい家庭から、明るい社会は生まれるもの。「心の教育」を忘れてはならない。
- 昔に比べると身近に暴力団の方々を目にしたリウワサを聞いたりすることは少なくなったと思うが、息子たちが成人するまでには、追放してもらいたいと強く願っている。ニュースで聞いている限り、やはり怖いと感じるし他県の方々からは、良いイメージがないと聞く。
- 今回、市役所内に民事介入暴力の相談窓口がある事を知り、非常に心強く感じました。
- マスコミ等により工藤会への取り組みを何回か見て福岡県警、北九州市警を中心に皆さんのものすごい取締りを長い期間地道に緩めることなくここまで取り組んで頂いたおかげで私たち市民が安心して今日を過ごせていることに涙が出ることがあります。本当にすごい事だと感じます。より多くの人たちが” 一体” とならないと出来ないことを着実に” 歩” を進めていることに感謝、感謝です。只今公判が続いていますが、すごく注視しております。
- 暴力団組織に関係している人達も幾人か現在もおられると思います。以前に比べその人達は減少傾向にあると思いますが、その人達の生活があると思います。一般市民でもめごとの処理等で容認を認めざるを得ないこともあると推測します。今以上増えないよう市民の認識、警察、役所の方の指導に期待したいです。
- 転勤族で十余年九州を離れていて、帰って来た時に「北九州は石を投げると暴力団に当たる」と言われていると聞いて大変ショックでした。暴力団は絶対に許すことはできません。
- 以前に比べるととても住み良くなっています。追放運動に参加された方々は勇気があったな一と、思います。本当にご苦労さまでした。ありがとうございます。直接の被害はなかったのですが、普通に近所に暴力団員が住んでいました。娘と息子の通う小学校にもその子ども達が通学していました。免疫があったかなと思います。よその土地に行ったら（転勤で）暴力団がいないので、北九州市が特異だったんだなと、思いました。
- 暴力はどんな事でも許されない。言葉の暴力もしかり。
- 飲食店と建設会社関連の理解と協力が不可欠だと思う。
- 公共工事業は、全て開示するように！
- 学校教育の中でももう少ししっかりと教えて欲しい。飲食店などからの見か締め料で困っている方が問題です。だから守ってあげる力が大いに必要。
- 北九州市はよくやっていると思う。
- まだ、まだ暴力団（らしい）は存在すると思われる。特に、色々なイベント（特

に祇園行事等)での排除に注力してほしい。

- もう少し暴力団やそれに関わる団体には、厳罰化して欲しい。
- 県外の知人から度々“暴力団がいつもウロウロしている街かと思っていた”と今だに言われます。その度に笑ってしまいますが、毅然とした態度を持っていれば良いのではと考えます。(関わったことがないから言えますが)
- 暴力団が身近に感じられませんが絶対いけないと思いますので 小さなのでも根絶していけばと思います。
- 夜間の繁華街(小倉・黒崎)で、警察等の見回りを強化してほしい。仕事から帰り道で使用しないといけない時にたまに怖い思いをします。
- 警察が暴力追放で頑張ったことは評価できるが、一方組織ぐるみの裏金づくりなどの古い体質が残っており、透明性のある警察となっこそ、市民と一体となった暴力追放などの取り組みができると思う。
- 市民が暴力追放に協力的になった。暴力団の姿を見なくなった。薬物犯罪が多くなっており通報制度を整えて欲しい。
- 相談窓口が身近にあることをもっとアピールした方がよいと思います。
- 引き続き暴迫に力を入れ、暴力を根絶やしにして、老若男女が安心して住める街にして欲しい。本気で暴力団を辞めたい人に対してのみは、一定のサポートをし、まともに生きられる手助けをしてあげて欲しい。
- 問 10 で書きましたが、警察も弁護士も行政も解決できないような問題が生じたとき、どうすればいいのでしょうか。ごく一部でしょうけど、藁にも縋る思いで暴力団を頼る人がいて、それを自分は非難することはできません。そういうケースを除けば、暴力追放に賛成一択です。北九州市の治安の悪さやそのイメージが払拭されることを望みます。
- 小学生の頃から学校等で、暴力追放の必要性を話す講演や授業を行なうことが大切だと思います。
- 暴力団の活動に関しての制約や法律を更に制定したり、経営者や市民が暴力追放について認識を改める必要があると思います。
- 暴力団の問題は昔からありますが、未だに解消されていないという事は手に負えないレベルなのか本気で潰す気がないのかのどちらかだと思います。また、追放運動を行うのはいいですが、追放された暴力団はどこへ行くのでしょうか？北九州からいなくなっても他の都市で活動するなら意味がありませんし、潰したとしてもその構成員の人たちはどうするのでしょうか？受け入れる場所がなければ結局はよそへ流れて別の組織に入ったり、新しい組織を作ったりするだけではないのでしょうか？追放運動を行うよりも暴力団として活動できない、なろうと思わ

ない社会を作ることが重要だと思いますし、もっと言うなら暴力団、犯罪者、不良などそういったレッテルで人を判断し爪弾きにしたり、(特に SNS で多く見受けられますが) 必要以上に第三者が叩く事が許されている社会の方を変えていくべきだと思います。理想は撲滅や追放ではなく自然消滅させる事だと思います。

- 暴力追放の取り組みは、警察や市だけではなく、企業や市民も協力しなければ成り立ちませんが、脅迫や恐喝に対して、抵抗することが出来る人は少ないかもしれません。被害を受けた人が相談しやすい環境や制度を、更に充実させる必要があると思います。

また、暴力団等から離脱しようとする人や、関係を断ち切ろうとする人に対して、十分な支援や保護を行う必要があります。

- 以前と比べて暴力団に付いてのいざこざはあまり聞かなくなった気がする。市や警察もそれなりに頑張っているのではないかと思います。
- 他県の方からは、暴力団がいる怖い街の印象はあるようだが住んでいて…気にならない。
- 控訴は権利だから仕方ないけど、工藤会の野村は死刑判決が出ているので、速やかに実行するべきだと思う。田上が色々言っているみたいだが、年も年だから、死刑以外で死ぬ可能性が高いので、時間稼ぎをさせないで欲しいです。そうしたら、みせしめとまではいかないでも暴力団員になっても割に合わなくて美味しい思いをする事がないと、知らしめられると思います。
- まだたくさん残っている。
- 暴力団ではないですが、市民の方で暴力的な言葉で威嚇されて、怖い思いをした事があります。かなり汚い言葉でした。こういう所も僅かですが暴力の一部だと思います。今、よくパトカーが街中を走っていますが、もっと強化してほしいです。特に学校周辺、夜、など。
- 暴力団は鳴りを潜めたかもしれないが、組織的では無い粗暴な人間や若年者の大麻使用などの問題が出てきていると感じる。幼少期からの教育を充実させて、反社会的な思想を生まないようにしなければならない。
- 暴力団の存在はあってはならないものだと思いますので、警察を中心として徹底的に追放していただきたい。
- 暴力団をこの世から無くしてほしい
- 報復などから絶対に市民を守ってほしい。
- 組織には毅然とした態度をとり行政や関係各位(警察、弁護士)との連携を素早く密にとるようにする。
- 若い人が意欲をもって働ける社会を作ること。

- 未だに「必要悪」と考えられています、北九州の工藤会はそれなりのメンバーの逮捕者を出し、弱体化の方向ですが、壊滅までは追い込んでないし、全国的にみても何ら変化が見られない。何故なのでしょうね？何処の誰かが、行政？警察組織？政治家？これでよし！としてるんでしょうね。それでは、良くならないし、解決もしないですよ。
- 暴力追放！大賛成です。もっと、反社会的組織に厳しい罰則や制裁が必要だと思います。
- 経済的に締め付けて団体を壊滅させる。

IV 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足した。

また、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の確保、社会経済活動の健全な発展に寄与すること等を目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため実施した。

【市の相談窓口の認知度について】

- 市の相談窓口の認知度は、53.9%と半数を超えた。前回の令和3年度は、47.7%、前々回の令和元年度は、38.3%と徐々に向上している。

暴力追放に向けた取組については、「テレビや市政だよりによる広報啓発」、「ポスターやリーフレットによる啓発」、が前回と同様6割以上で上位を占めた。

【不当な要求を受けた場合について】

- 暴力団から不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が78.3%と圧倒的に多く、次いで「要求を拒否する」が16.1%であった。

また、相談相手は1位「警察」93.8%、2位「市の相談窓口」50.0%と順位は前回と同様で、割合は前回より高くなっており、身の回りの人より、行政機関を優先する意見が多かった。

【暴力追放の住民運動について】

- 暴力団追放の住民運動への参加意識では、「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が30.1%で全体の3割、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は69.9%で7割を占めている。参加したくない理由は「今までこのような行事に参加したことがないから」が59.0%と一番多く、前回調査

時の 48.4%から増加した。

また、「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が 39.0%、「暴力団からの報復等がこわいから」が 34.0%と、暴力団の存在を恐れる意見は前回の調査時とほぼ同率であった。

【暴力団を利用してもめごと処理について】

- もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が 83.9%で大半を占めている。次いで「やむを得ない場合があると思う」が 9.8%「悪くないと思う」は 0.7%だった。

【暴力団の存在について】

- 暴力団の存在については、「暴力団に資金を提供する者がいるから」が 70.6%、「抜け出すことが困難だから」が 47.6%、次いで「利用する市民がいるから」が 44.1%と上位を占めた。

【北九州のイメージについて】

- 都市のイメージの項目は、1位「工業都市・労働者の街」が 65.0%、2位「まあまあ住みよい街」が 60.8%となった。また、「暴力の街」は前回調査時より微増したことから、引き続きイメージの改善が期待される結果となった。

【暴力追放運動の取組について】

- 暴力追放運動の取組については、以前と比べて「非常によくなっている」が 32.2%、「少しよくなっている」が 41.3%であり、よくなっているとの意見が全体の 73.5%で、本市の暴力追放運動は一定の評価を受けていることがうかがえる。

【市政モニターに関すること】

広報室広聴課(Tel:582-2527)

【アンケートに関すること】

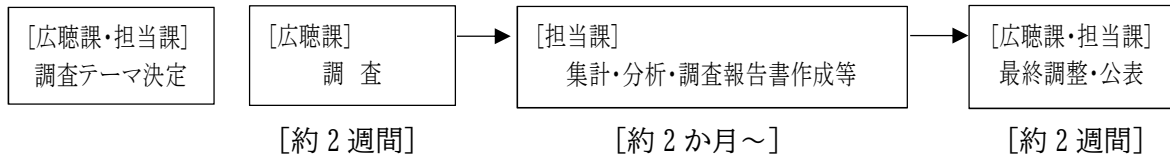
市民文化スポーツ局安全・安心推進課(Tel:582-2427)

市政モニター制度について

1. 市政モニター制度の概要

市の様々な施策を進めるうえで、満足度や実感などの市民の生の声を参考とするため、毎年、公募による18歳以上の市民150人に、市政モニターとして様々な分野のアンケートに協力していただいています（依頼期間 令和5年5月から令和6年3月）。

2. 市政モニター調査の作業工程について



3. 令和5年度 市政モニターアンケート調査 実施予定及び公表予定

回	実施時期	件名	担当課	回収率	公表予定
1	5月12日～5月26日	認知症支援・介護予防に関する意識調査	保健福祉局 認知症支援・介護予防センター	95.3%	8月
2	6月2日～6月16日	北九州市の観光振興について	産業経済局 観光課	92.7%	9月
3	6月30日～7月14日	生涯学習に関する意識調査	市民文化スポーツ局 生涯学習課	93.3%	10月
4	7月28日～8月11日	子ども食堂等の認知度調査	子ども家庭局 子育て支援課	96.0%	10月
5	8月18日～9月1日	モラル・マナーアップについて	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課	94.6%	11月
6	9月15日～9月29日	暴力追放運動について	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課	95.3%	12月
7	11月8日～11月22日	北九州市の生物多様性について	環境局 環境監視課	—	2月
8	12月6日～12月20日	消防団について	消防局 消防団課	—	3月